

中期経営計画 2019 (PTC事業部)

2017/5/31

 **住友重機械工業株式会社**

取締役専務執行役員 PTC事業部長
田中 利治

INDEX

01

「中期経営計画2016」総括

02

「中期経営計画2019」概要

01

「中期経営計画2016」総括

01

中期経営計画2016の達成状況

■ 中計16

(億円)

	2014年度			2015年度			2016年度			中計16累計		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
売上高	1,050	1,026	97.7%	1,080	1,076	99.6%	1,100	986	89.7%	3,230	3,089	95.6%
営業利益	70	66	94.8%	85	89	105.1%	100	91	91.2%	255	247	96.8%
営業利益率	6.7%	6.4%	-	7.9%	8.3%	-	9.1%	9.2%	-	7.9%	8.0%	-

■ 前中計

(億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	前中計累計
	実績	実績	実績	実績
売上高	932	912	1,000	2,844
営業利益	42	28	59	129
営業利益率	4.5%	3.0%	5.9%	4.5%

総括：収益力はほぼ計画通り達成。

中計16期間では、前中計に比べて、売上高で約9%の伸び、営業利益は約1.9倍と稼ぐ力は確実にアップしている。

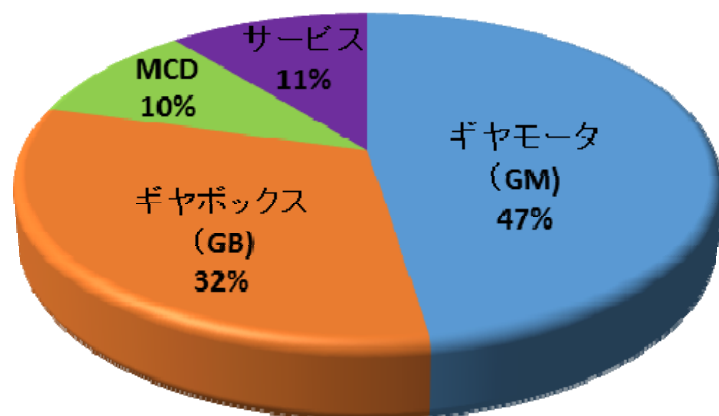
機種別、国内海外拠点別採算改善活動により営業利益が大幅改善。

01

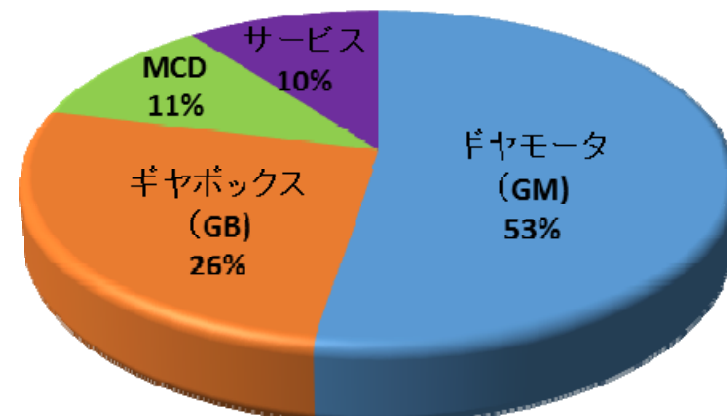
機種別売上構成

機種別売上構成

2014年度



2016年度

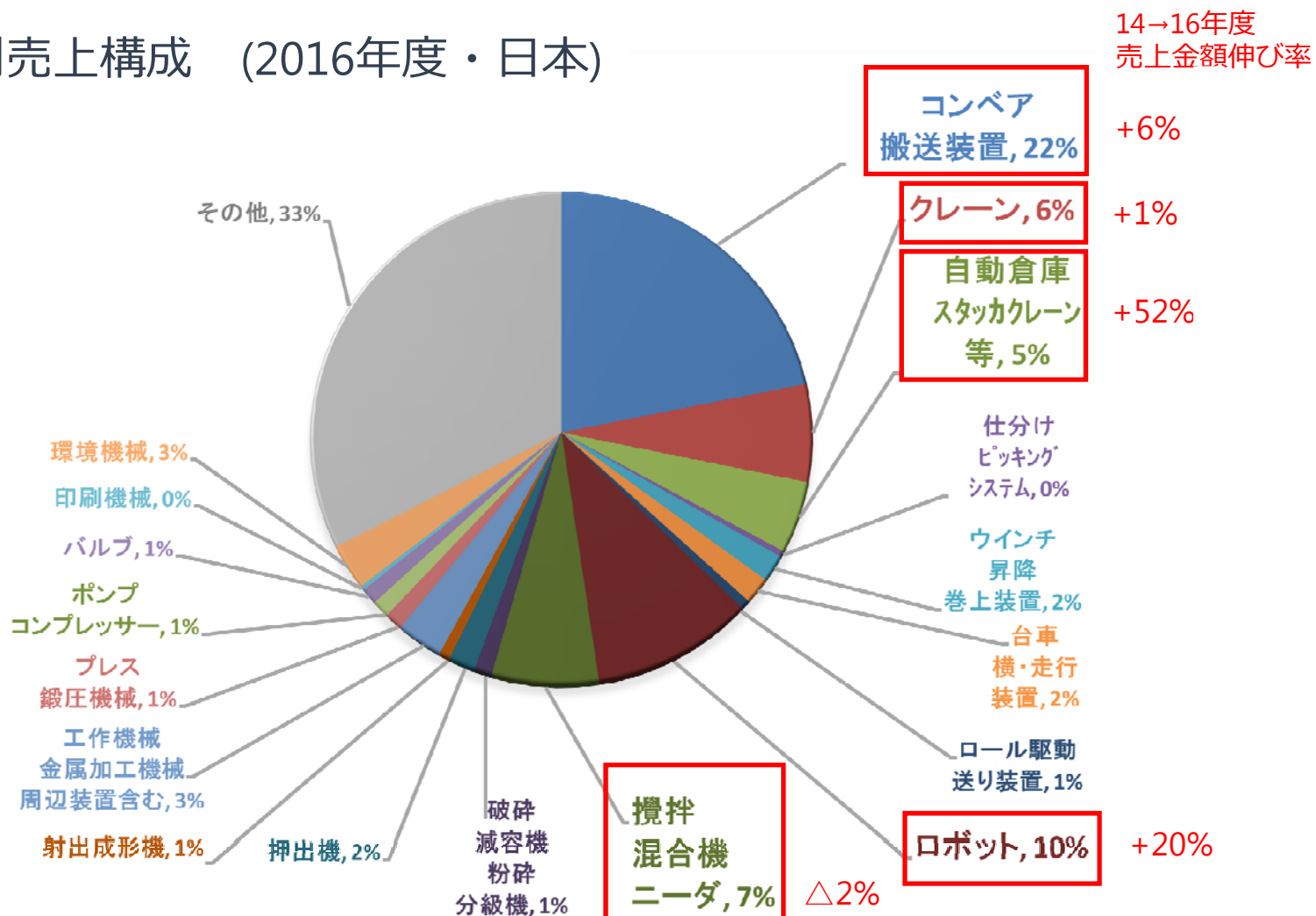


ギヤモータ (GM) 系 : 6ポイント増加
ギヤボックス (GB) 系 : 6ポイント減少

01

使用機械別売上構成

使用機械別売上構成 (2016年度・日本)



構成比率に大きな変動なし。 物流搬送系、ロボット需要は好調継続。

02

「中期経営計画2019」概要

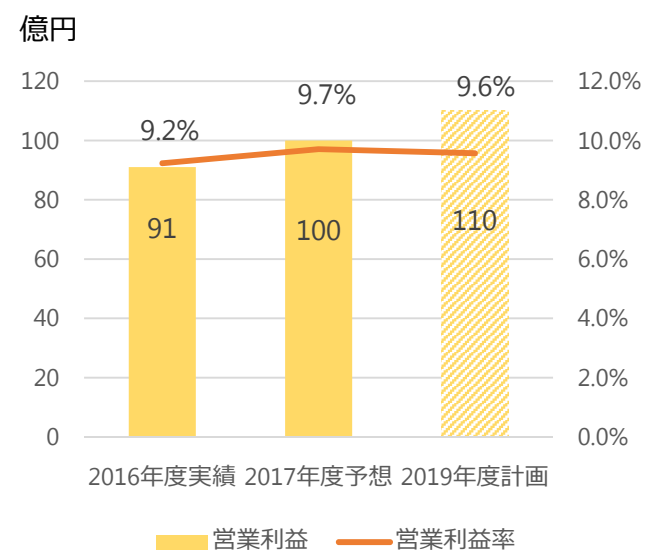
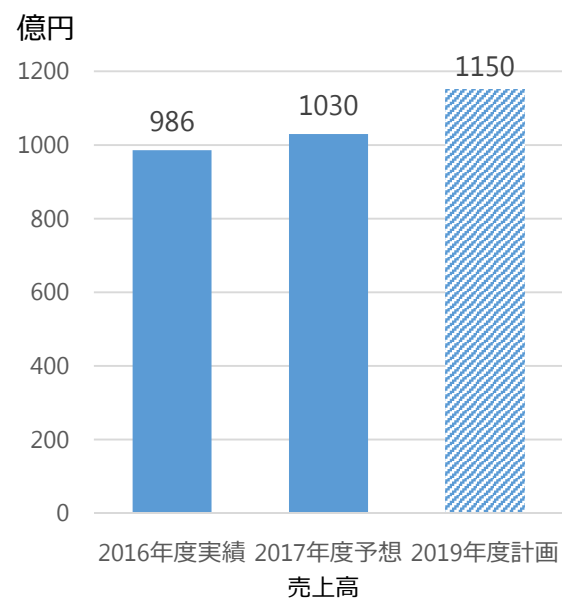
02

「中期経営計画2019」数値目標

■中計19 数値目標

(億円)

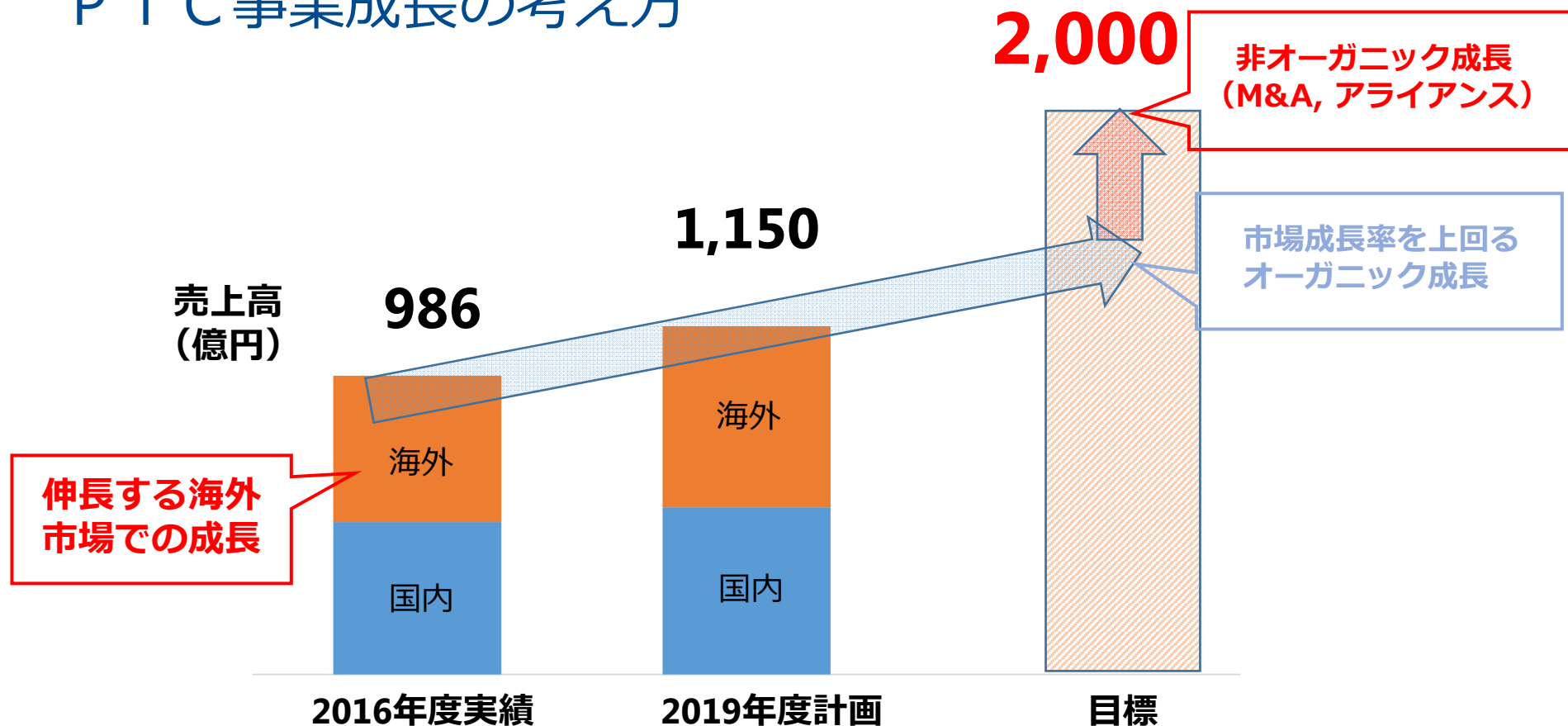
	2016年度	2017年度	2019年度
	実績	予想	計画
売上高	986	1,030	1,150
営業利益	91	100	110
営業利益率	9.2%	9.7%	9.6%



02

PTC事業成長の考え方

PTC事業成長の考え方



02

「中期経営計画2019」地域別見通し

■ 地域別見通し

	日本	米州	EMEA	中国	東南アジア・オセアニア
需要見通し	<ul style="list-style-type: none"> 生産堅調も、将来的には海外シフト進展 コンベア・搬送物流、FA・ロボット業界活況 	<ul style="list-style-type: none"> 物流、空港、食品&飲料など好調 鉱山関連も底打ち感が見え、2017後半から回復期待 	<ul style="list-style-type: none"> FA・ロボットなどIoT関連のリーダー企業が市場を牽引 	<ul style="list-style-type: none"> 自動化投資活発。ロボット、搬送FAなど堅調 鉱山・資源系需要回復は環境対策から 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア、マレーシア、タイなどの停滞感継続 農業関連需要は人口増加とともに安定成長
*需要予測 (CAGR15-20)	GM : 2.3% GB : 0.4% (Asia Pacificに含む)	GM : 2.3% GB: 0.6%	GM: 2.1% GB: 0.4%	GM: 2.3% GB: 0.4% (Asia Pacificに含む)	
売上高成長率 (CAGR16→19)	3.8%	9.1%	8.0%	10.2%	5.4%
市場シェア (推計値)	53%	北米:11% 中南米:8%	欧州:3%	5%	15%
当社ターゲットセグメント	物流 →	物流 →	FA →	FA →	農業 →
	港湾 →	食品 →	発電 →	自動車 →	水処理 →
	自動車 →	鉱山 →	環境 →	発電 →	発電 →

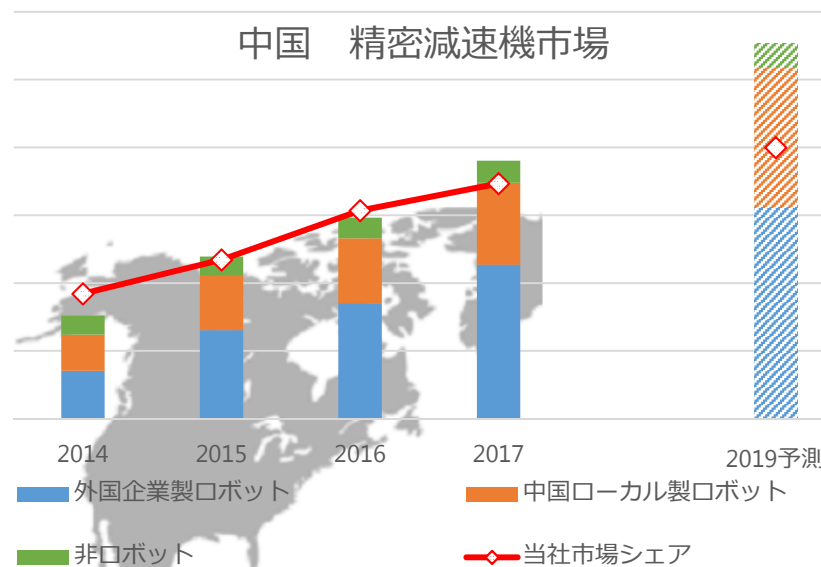
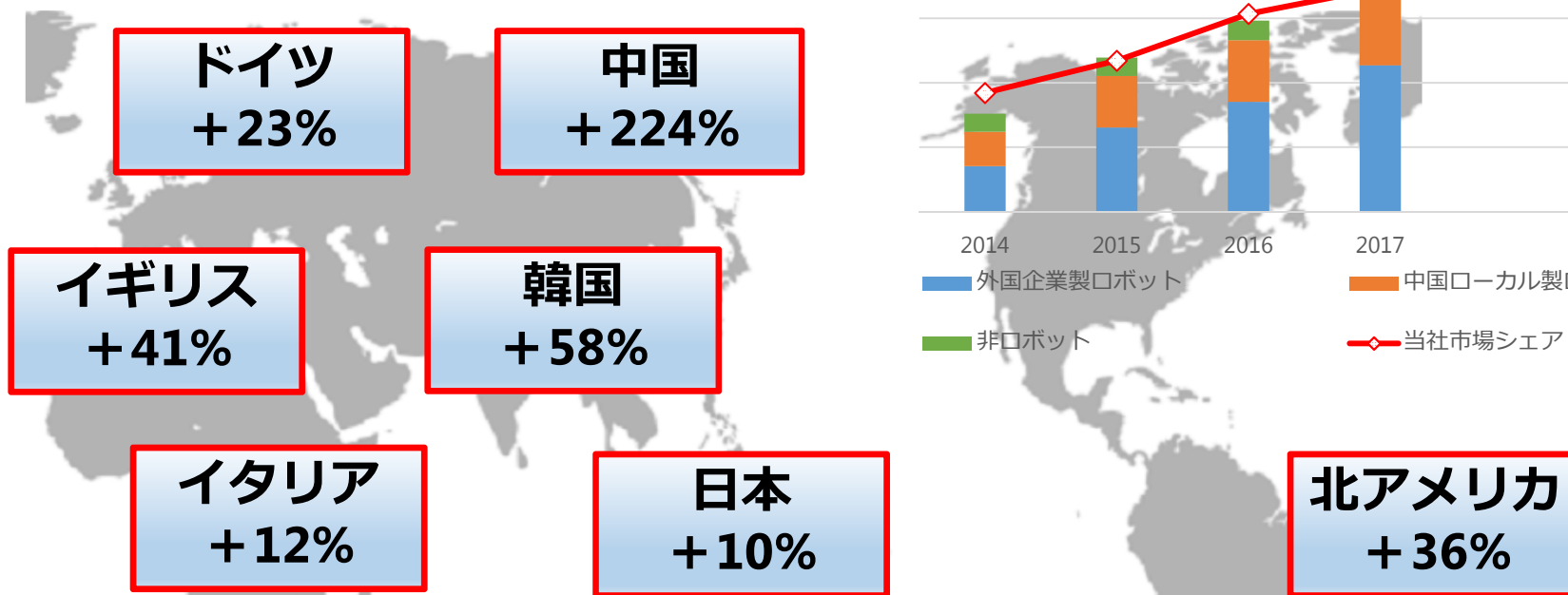
*需要予測は、IHS調査レポートより弊社推計。 Asia Pacific: 日本、中国、東南アジア・オセアニア

02

世界主要地域・国の産業用ロボット稼働台数伸び率

産業用ロボット稼働台数伸び率

2014年 → 2018年
稼働台数伸び率 (%)

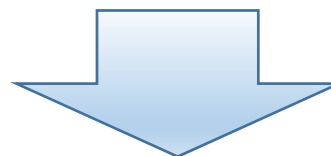
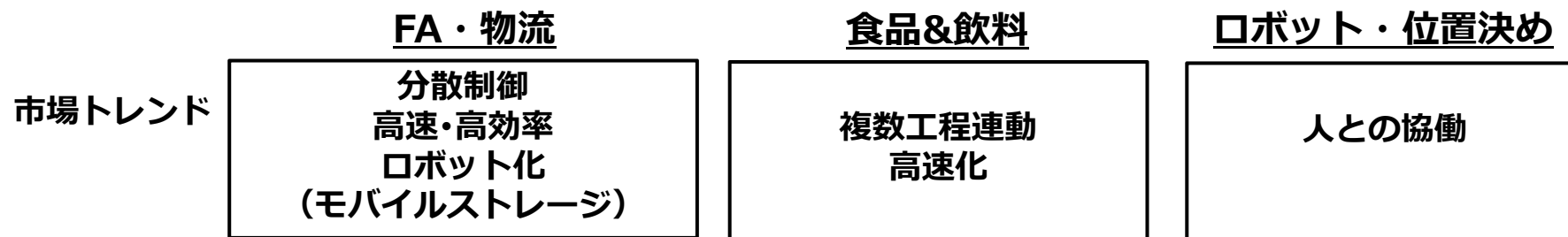


出所：国際ロボット連名「World Robotics 2015」、一般社団法人 日本ロボット工業会「産業動向レポート2015」を元に当社推計

02 搬送物流、ロボットの市場トレンド

■ 搬送物流、ロボットの市場トレンド

- IoTの本格的潮流に伴い、ソリューション提供、パッケージ化、インテリジェント化の顧客要求
- E-Commerce拡大、FA市場の質的变化・量的拡大
- オープン・イノベーション機運上昇



■ PTC事業が今後目指す姿

- 「減速機サプライヤー」から「ソリューション・プロバイダー」へ
- 将来の成長に必要な投資を、中計19で実施
- 不足の技術は、M&A・アライアンスにより積極的に取り込む

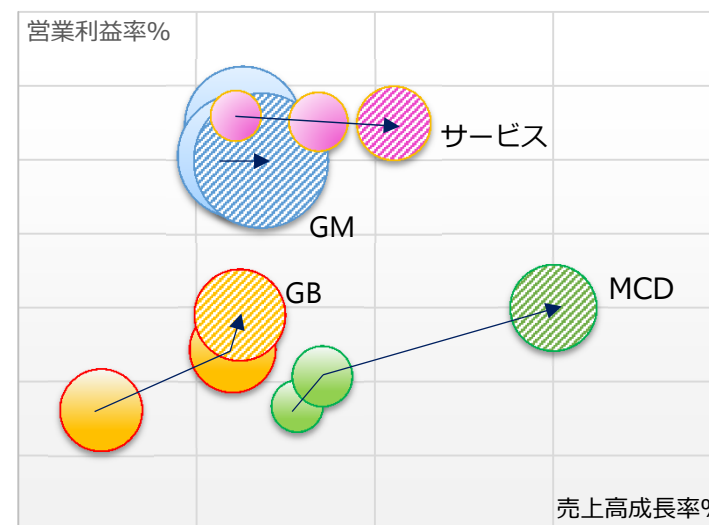
02 事業の役割と投資の考え方

■ 事業の役割と投資の考え方

事業	事業の役割	事業課題と投資	売上高 (16→19年度)
GM	高収益	GM各工場の工場変革（高精度化、自動化（IoT対応））	112%
MCD	成長	市場変化に追従（高精度化、増産対応、新商品開発）	135%
GB	安定収益	GB各工場の収益安定化	110%
サービス	収益貢献	グローバルで顧客対応力強化（サービス拠点拡充）	134%

■ 各事業別売上高・営業利益率

- ・バブルの大きさは売上高規模
(16年度実績、19年度計画、目標)
- ・売上高成長率%
13年度→16年度→19年度→目標





将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。